



2026年2月13日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長兼最高経営責任者
此下 竜矢
(コード番号 5103 スタンダード市場)
問合せ先 取締役兼最高執行責任者兼
最高財務責任者 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

営業外収益、及び営業外費用の発生に関するお知らせ

当社は、2026年3月期第3四半期（2025年4月1日～2025年12月31日）の決算を締め切る過程において、以下の通り営業外収益、及び営業外費用を計上することが判明いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益 134百万円）の発生及びその内容（連結）

当社は、2026年3月期第2四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）に、為替相場の変動の影響により、当社グループが保有する外貨建債権等に係る為替差益を89百万円計上しておりました。2026年3月期第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）におきましても、引き続き為替相場が円安に進んだことから、同様の理由で為替差益134百万円を計上することとなりました。

2. 営業外費用（持分法による投資損失 609百万円）の発生及びその内容（連結）

当社は、2026年3月期第2四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）に、主に、持分法適用関連会社保有資産の再評価を実施し、連結損益に取り込んだ結果、453百万円の持分法による投資損失を計上しておりました。それに加え2026年3月期第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）におきましては、主に、持分法適用関連会社であるGroup Lease PCL. の業績の影響により、持分法による投資損失609百万円を計上することとなりました。

3. 今後の見通し

上記に記載の営業外収益、及び営業外費用につきましては、2026年2月13日付の「2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映させております。

以上